

広島市植物公園 見どころ案内



2024 年 9 月 21 日
通巻第 635 号

展示会のご案内

- ◇展示資料館 (9/14~12/22)
人の暮らしを支える『植物と油』展
- ◇展示温室(9/7~10/6)
薬用植物展
- ◇大温室前、熱帯スイレン温室
盛夏のスイレン展 (7/13~9/23)

オミナエシ (オミナエシ科)

オミナエシは「秋の七草」のひとつで、里山の野草園のほかに、ロックガーデンや花の進化園でも咲いています。

ケチョウセンアサガオ

(ナス科)

北米原産。誤食すると危険な**有毒植物**ですが、このなかまは古くから薬(アトロピン)の原料としても用いられてきた歴史のある植物です。

アングラエクム

ロンギカルカー

(ラン科)

マダガスカル原産。ダーウィンのランとして有名な「セスキペダレ」の近縁種で、長い距(きょ:蜜をためる細長い袋)をもち、蛾と共に進化したと考えられています。

アモルフォファルス・ディ

カス-シルバエ (サトイモ科)

世界で最も大きな花を咲かせる植物「ショクダイオオコンニャク」の近縁種。休眠から目覚め、新芽が伸びています。現時点(9/21)では断定できませんが、開花する可能性があります。

カリガネソウ (シソ科)

東アジア原産。花の形が雁(かり)に似ているとして名付けられました。

ハギのなかま (マメ科)

ハギは秋の七草の一つ。園芸品種を含めて 14 種類のハギのなかまを植栽展示しています。

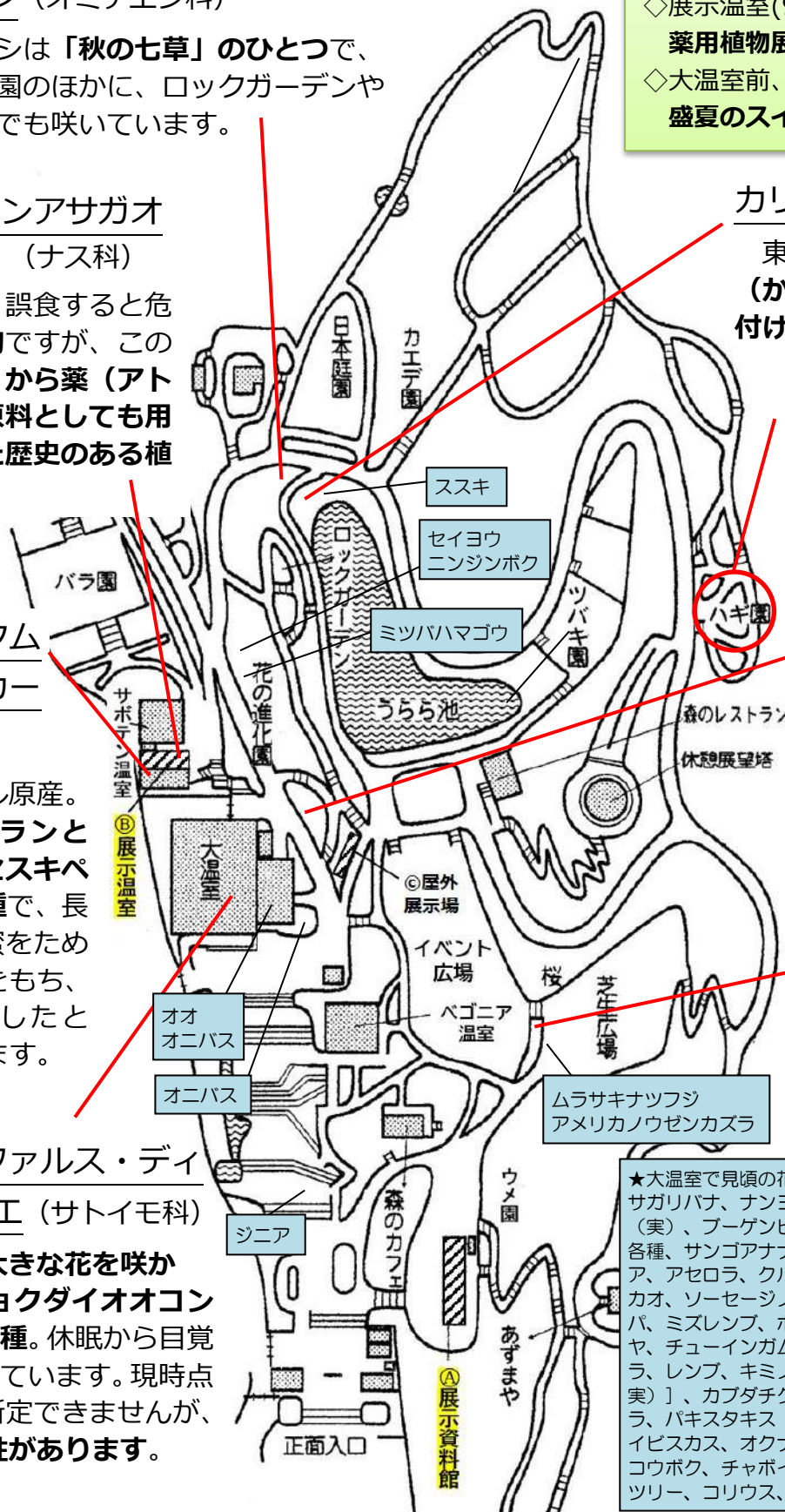
トウゴマ

(トウダイグサ科)

植物油の原料植物の一つ。種子から取れる油は「ひまし油」と呼ばれ、薬(下剤)として使われるほか、工業用の潤滑油にも用いられます。

十月桜 (バラ科)

春だけでなく秋にも咲くめずらしい桜。半八重咲きで薄い桃色の花をつけ始めました。



★大温室で見頃の花 アンスリウム、スパティフィラム、サガリバナ、ナンヨウザクラ、タコノキ・ビヨウタコノキ(実)、ブーゲンビリア、タッカ シャントリエリ、洋蘭各種、サンゴアナナス、シマサンゴアナナス、グズマニア、アセロラ、クルクマ、ヘリコニア各種、[パニラ、カカオ、ソーセーシノキ、ゴレンシ、ユーゲニア メガアルバ、ミスレンプ、ホワイトサボテ、バナナ各種、パパイア、チューインガムノキ、クロツグ、黄金ココヤシ、パキラ、レンプ、キミノパンジロウ、コーヒーノキ(以上は実)]、カブダチクジャクヤシ、ルエリア ロンギフロラ、パキスタキス ルテア、クパノラ ドミンゲンシス、ハイビスカス、オクナ キルキー、プセウドランテマム、ヤコウボク、チャボイランイランノキ、ゴールデンチェーンツリー、コリウス、アリアケカズラ、セイロンランティア